

□ 第5回高松国際 ピアノコンクール

堀田直孝

第5回高松国際ピアノコンクールが2023年2月12日から24日まで、高松市のレクザムホールで行われ、ロシアのフィリップ・リノフ（24）の優勝で幕を閉じた。4年に1度の開催だが、今回は新型コロナウイルスの影響のため1年延期しての開催となったものの、前回と同様に世界のピアニストの熱戦を味わおうと多くのクラシックファンが来場。日本の主要な国際コンクールの一つとして音楽関係者に浸透していることをうかがわせた。

同コンクールは地元経済界や音楽界の有志でつくる実行委員会が2006年から開催。15年に国際音楽コンクール世界連盟に加盟し、開催を重ねるごとに地位を高めてきた。今年のコンクールには26の国と地域から前回比87人減となる245人の応募があった。コロナへの警戒があったようだが、外国人の割合が46・9%を占めた上、国内からは日本音楽コンクールの優勝者も名を連ねるなど、着実にコンクールの知名度と出場者のレベルが向上していることを印象づけた。

本選はDVDによる予備審査を経た9の国と地域の42人で競い、国内外の審査員9人による投票を実施した。1位のリノフは本選で地元の瀬戸フィルハーモニー交響楽団と協演しラフマニノフの「ピアノ協奏曲第3番」を演奏。1次審査から見せた安定感ほほろびを見せず、作品の情景を想起させる豊かな表現力と詩情をたたえた音色で来場者を魅了。審査員からは「知性と感性のバランスの取れた演奏」と称賛された。2位は神奈川県出身の青島周平（24）、3位はロシア出身のナイール・マヴリュードフ（31）、4位は香川県出身の西本裕矢（20）、5位はウクライナ出身のマリア・ナロジツカ（34）だった。日本人2人が入賞し、前回に引き続き国内勢も活躍したと言える。

今コンクールで最も話題を集めたのは開催地・高松市出身の西本の県人初となる入賞。これまで県勢は本選まで進めていなかっただけに、ピアニストを志す地元の若者には大きな希望を与えたはずだ。西本自身も「子どもの頃から憧れていたコンクール」と入賞の喜びを語っていた。西本は東京藝大に通う傍ら、古楽のショパン国際ビリオド楽器コンクールにも挑戦するなど活躍の場を広げており、今後のさらなる成長に期待がかかる。また、コンクール後に香川で凱旋ソロコンサートを開いたほか、高松交響楽団とも協演。いずれの公演にも大勢の来場者が詰めかけ、地元の新たなクラシックファン開拓に寄与していると感じた。普段は関東を拠点に活動する西本。彼の存在を県民に知らせたという意味でも有意義な大会だったと言える。

コンクールの地位向上については、第4回覇者である古海行子（神奈川県出身）の存在を抜きには語れない。古海は同コンクールで日本人として初優勝した後、2021年のショパン国際ピアノコンクールでセミファイナリストに選ばれた。翌年にはダブリン国際ピアノコンクールで2位入賞。23年にはリストを取り上げた新作CDをリリースするなど目覚ましい活躍を見せている。高松国際コンクールは当初から若手の成長サポートに重点を置いており、副賞として欧州などでの公演を複数用意。古海もイタリアを巡る演奏ツアーやドゥシニキ国際ショパン音楽

祭に出演するなど約20の副賞公演をこなしてきた。権威あるショパンコンクールでの躍進はその成果の一つとも言える。第5回覇者リノフについても同規模の副賞公演が予定されており、今後も優勝者の国際的な活躍が望まれる。

もう一つ、コンクールの意義として挙げられるのがファイナリストを香川に招いて行う学校公演。コンクール組織委員会の推進事業として毎年行っており、第5回の開催後には入賞者のマリア・ナロジツカが高松市内の小学校2校でソロステージを披露した。演奏後、児童からは奏者にさまざまな質問が飛び出し、「ナロジツカさんのように夢に向かって努力したい」といった声も聞かれた。子どもたちにとっては海外のピアニストの音色に触れるだけでなく、夢や目標を育む貴重な機会にもなっている。

最後に忘れてはならないのは、コロナ禍の中で無事第5回コンクールを成功させた組織委の努力だ。1年延期に伴う出場可否の確認、歓迎パーティーやホームステイの中止、出場者に毎日行った検温。異例づくめの大会を乗り切った組織委の熱意には賛辞を送りたい。今回に限らずスタッフのきめ細かで温かい対応が国内外から評判を呼んでいるようで、2度目の出場となったファイナリストからは「高松の風景の美しさだけでなく、おもてなしの心にも感銘を受けた」という声も聞かれた。

組織委は第6回コンクールを2026年2月に開催すると発表。さらにレベルの高いピアニストが集うよう願うばかりだ。既に高松と縁を結んだファイナリストは数多く、彼らが継続的に来県することで香川の音楽文化が活性化すれば、コンクールの意義はさらに深まるだろう。（年齢は当時）